

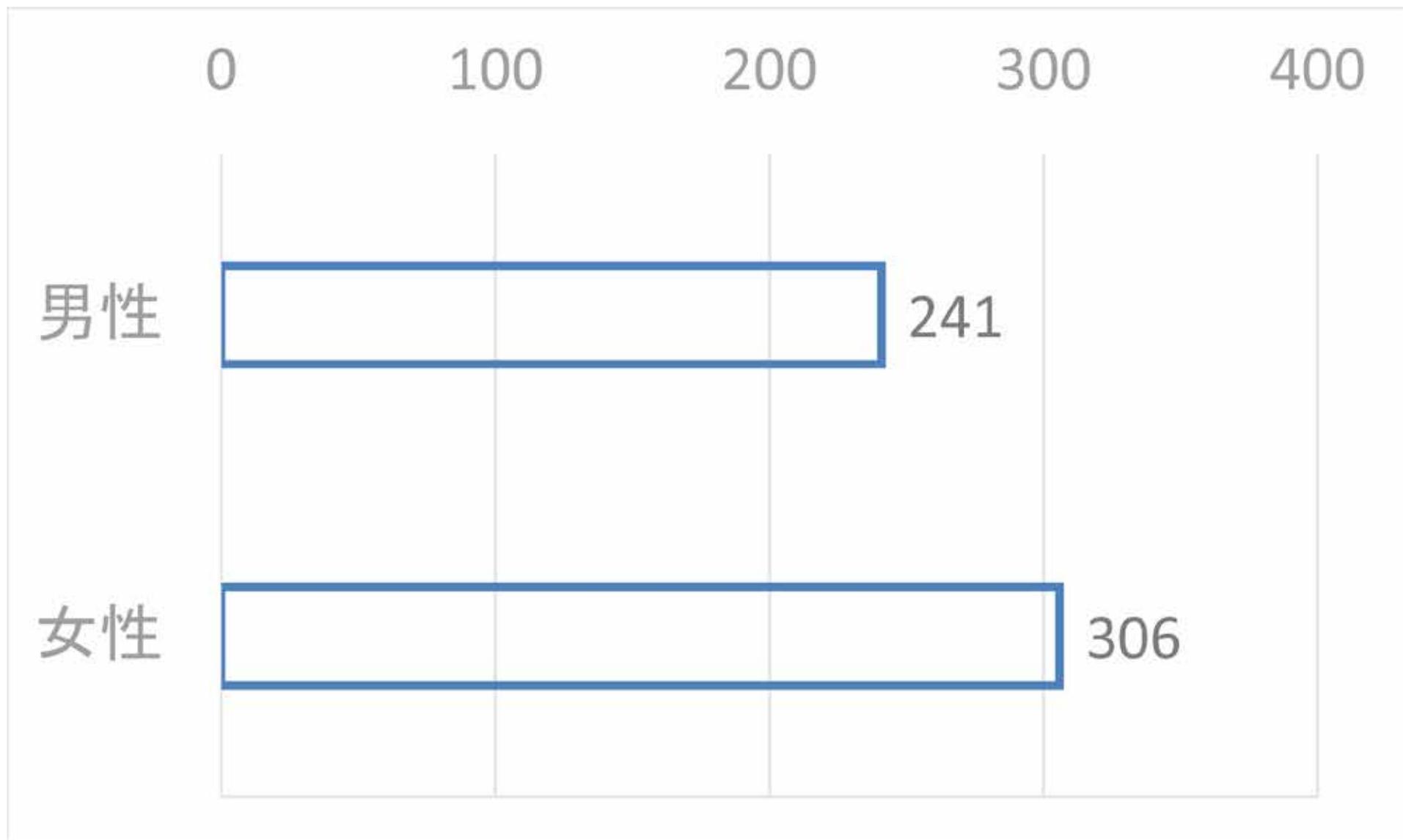
大任町社会福祉協議会
住民アンケート調査
集計結果

令和3年3月
大任町社会福祉協議会

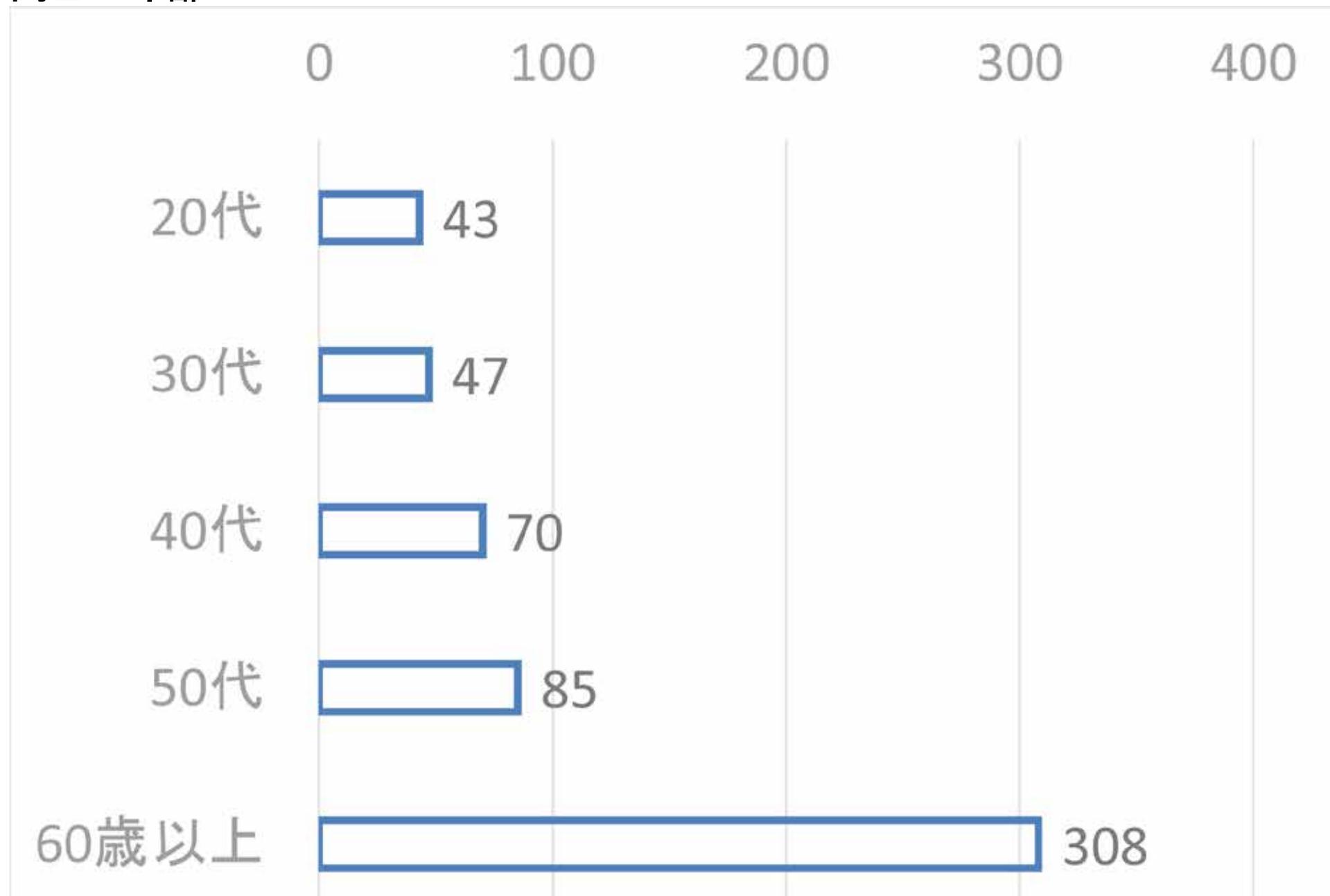
令和2年度大任町社会福祉協議会住民アンケート

1. 調査目的
常に住民課題を把握した地域福祉事業が展開できるよう、より一層地域福祉活動に力を入れていくため、本年度、大任町社会福祉協議会では組織・運営の見直しを行った。そこで、具体的な地域課題を把握し、課題解決に向けた新規事業を計画することを主な目的としてアンケート調査を行う。
2. 調査方法
郵送によるアンケート方式
3. 調査対象者
大任町民 20代以上 1,215名 無作為抽出(郵送方式)
4. 実施時期
令和2年10月1日(木)から令和2年10月30日(金)
発送日 令和2年10月2日(金)
回収締切日 令和2年10月30日(金)
5. 抽出内容
大任町民 20代～80代以上、各年代それぞれ3割を抽出
6. 回収率
46.6%

問1 性別



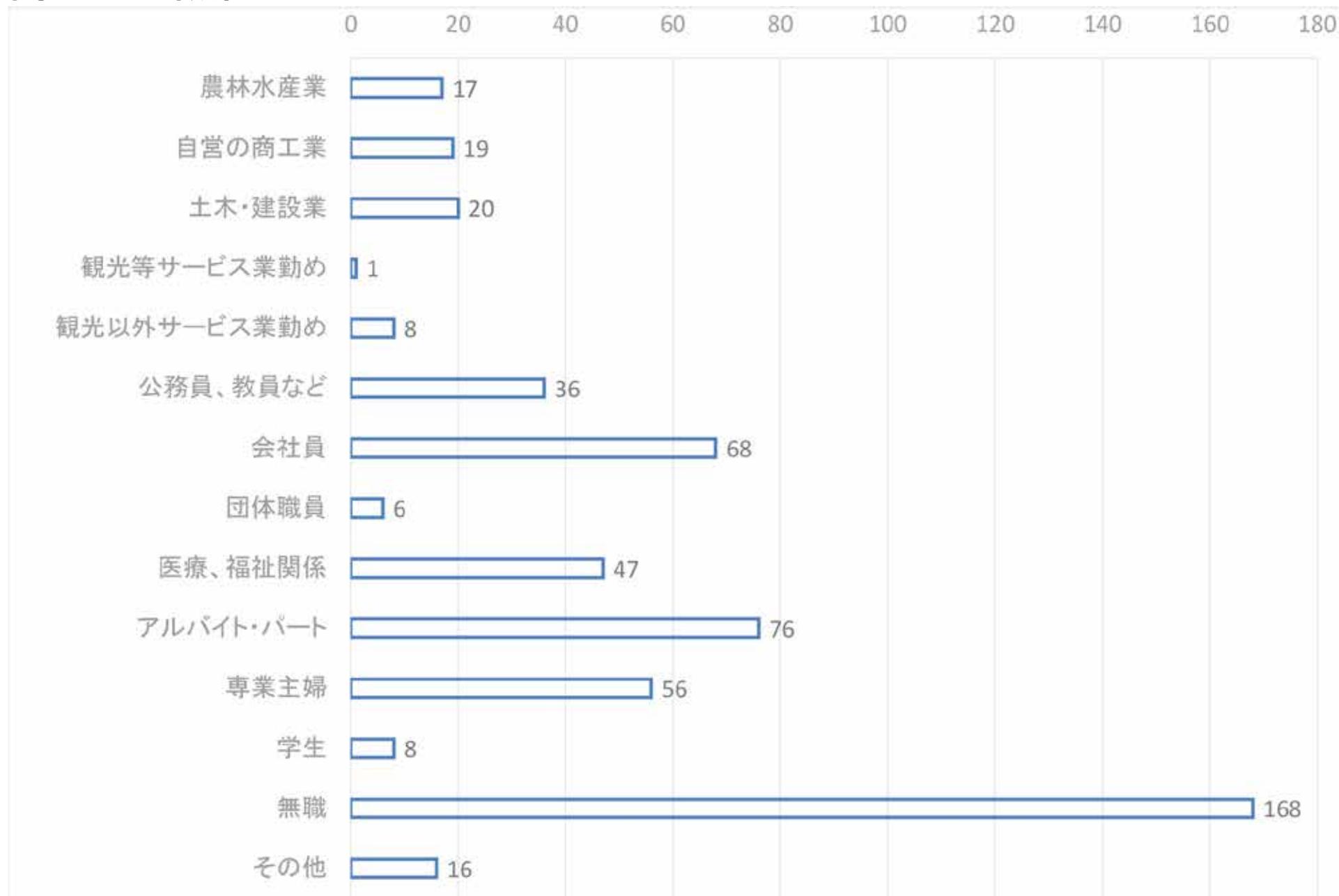
問2 年齢



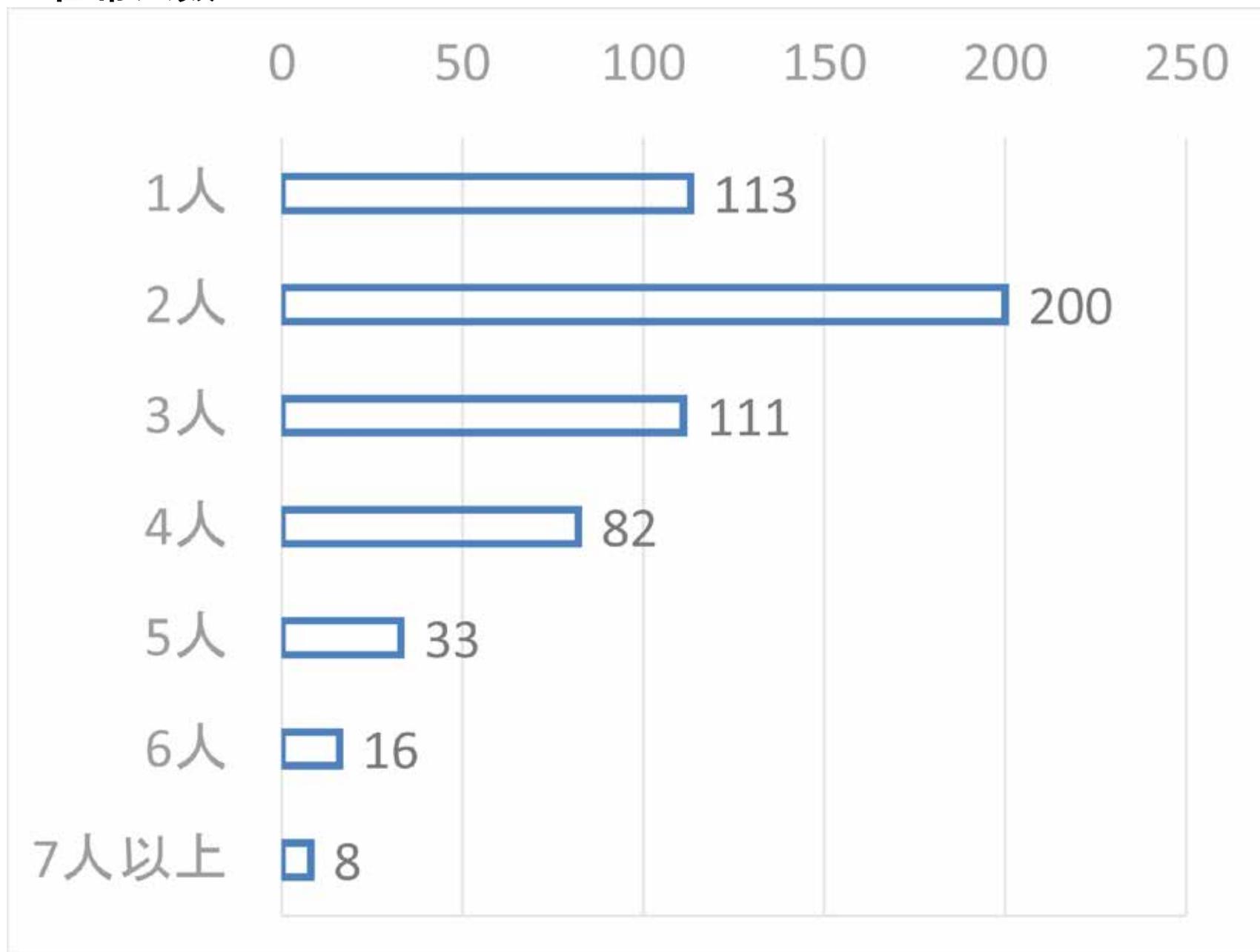
問3 お住まいの行政区



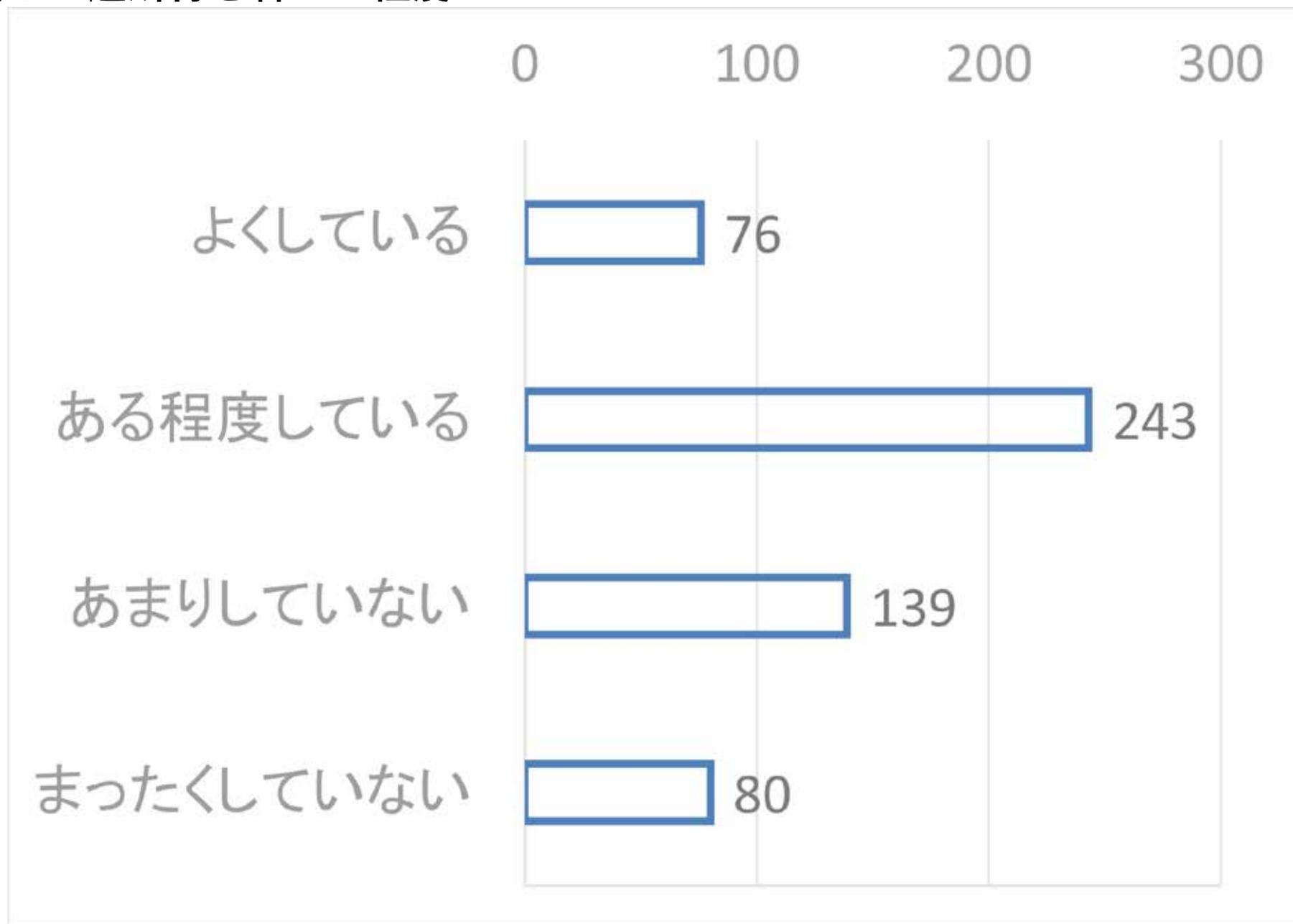
問4 ご職業



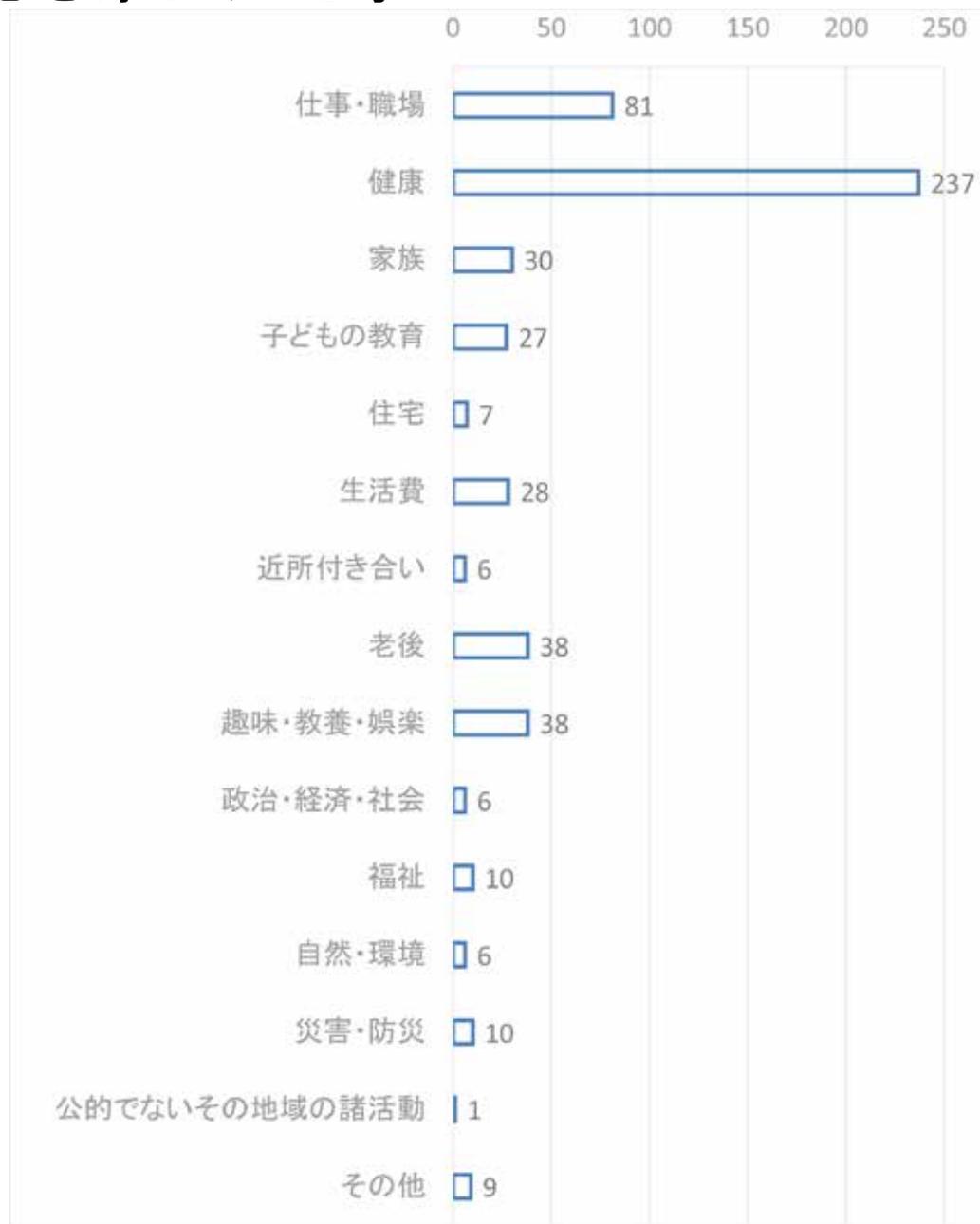
問5 世帯人数



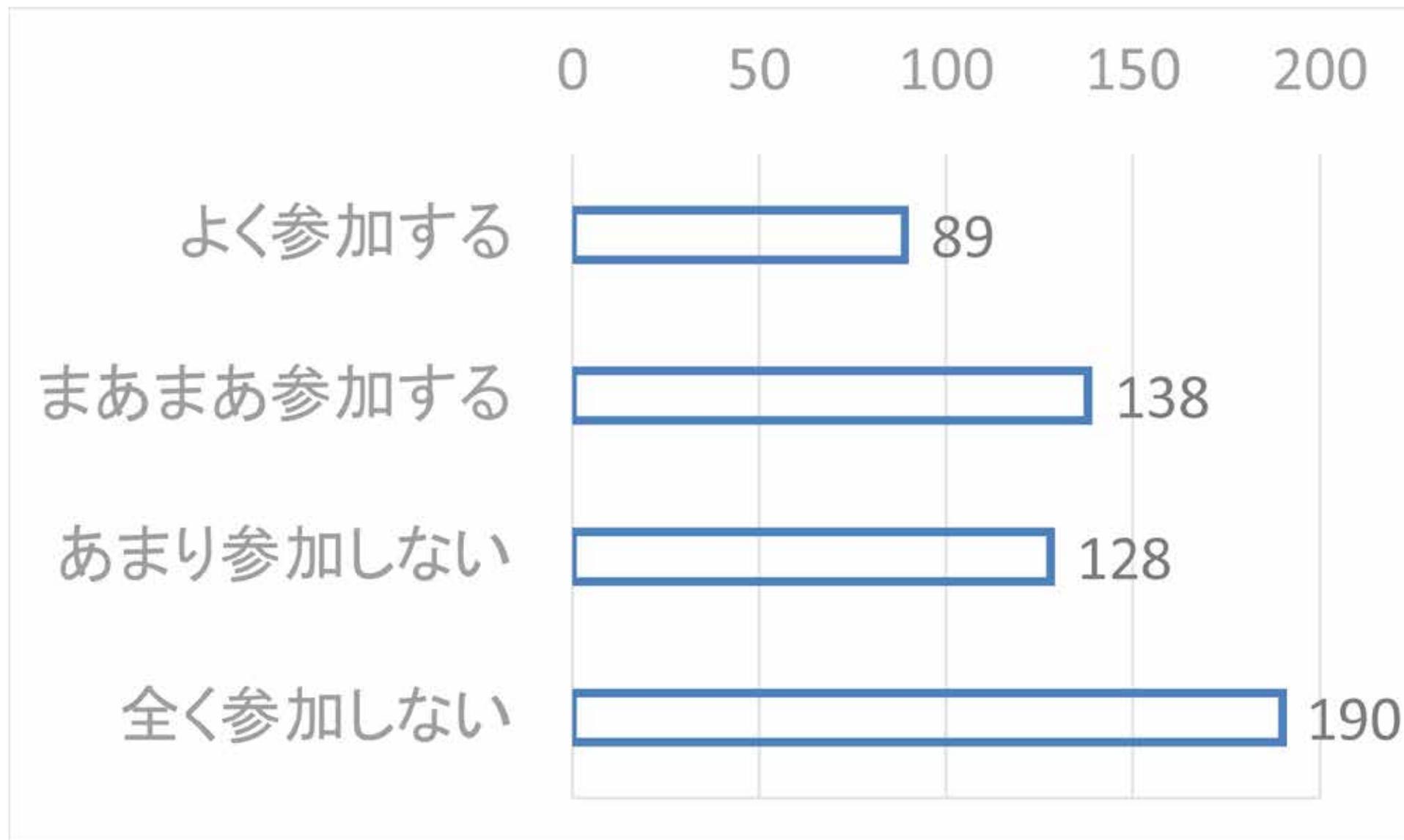
問6 近所付き合いの程度



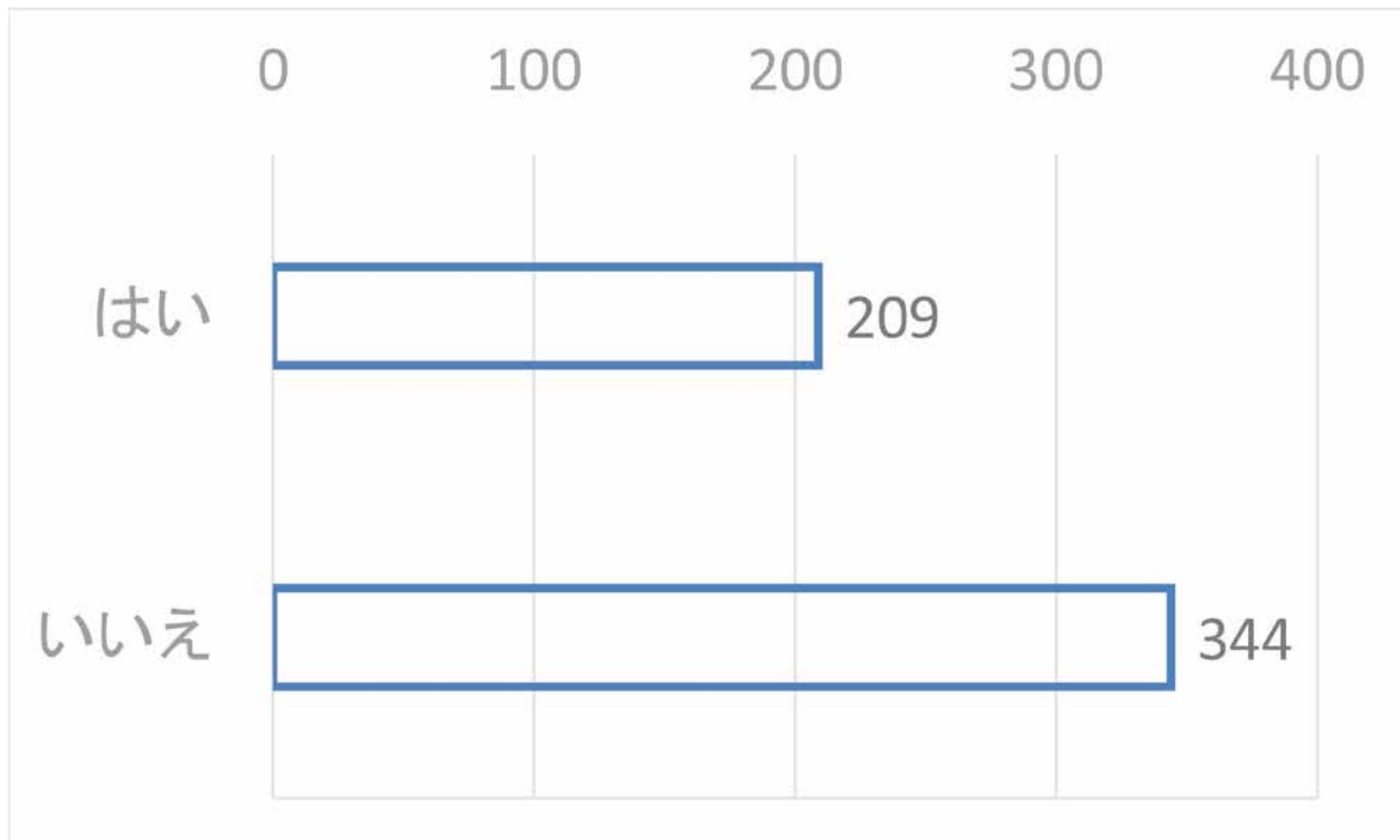
問7 今最も関心を寄せている事



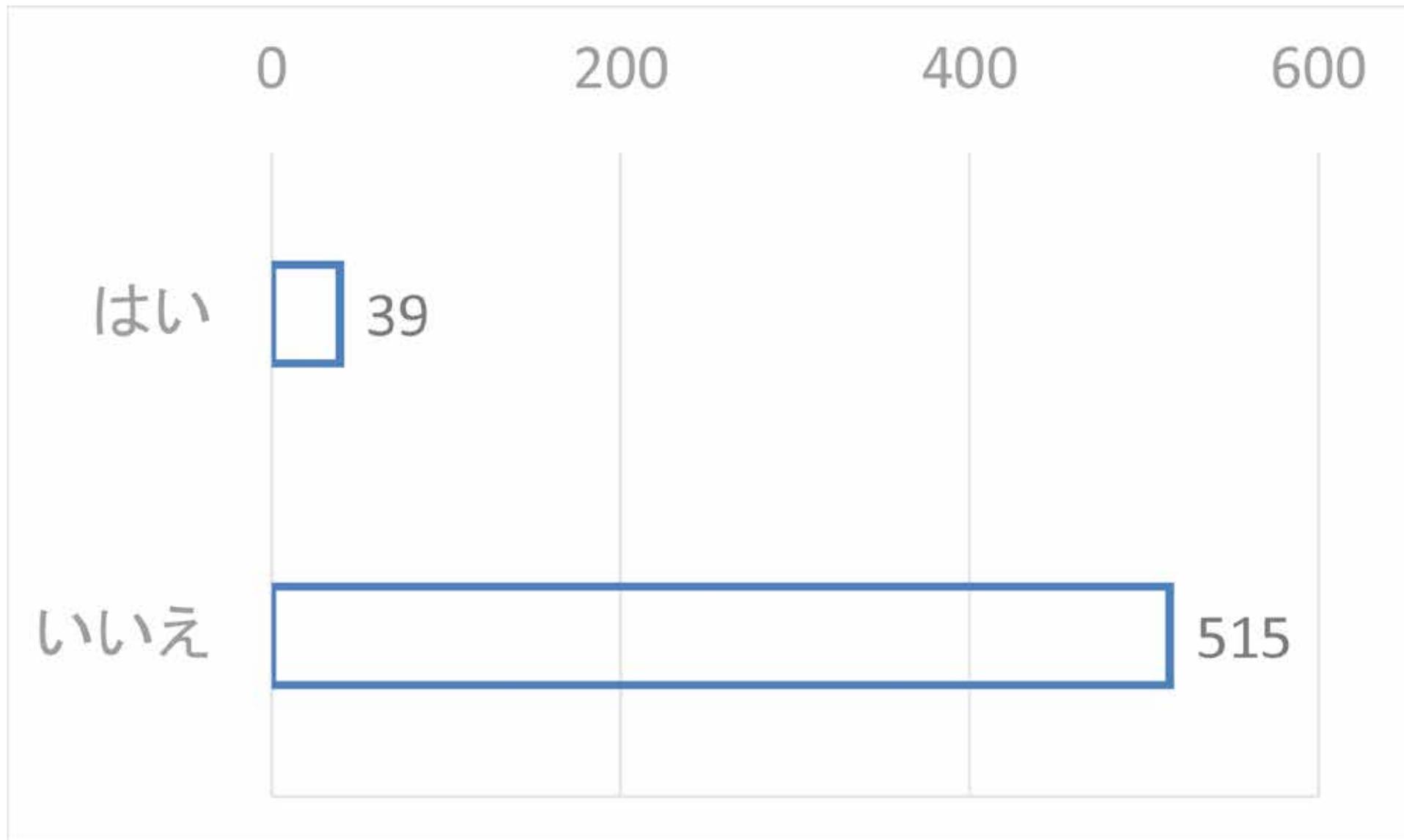
問8 地域の行事やPTAなどの地域活動によく参加される方ですか？



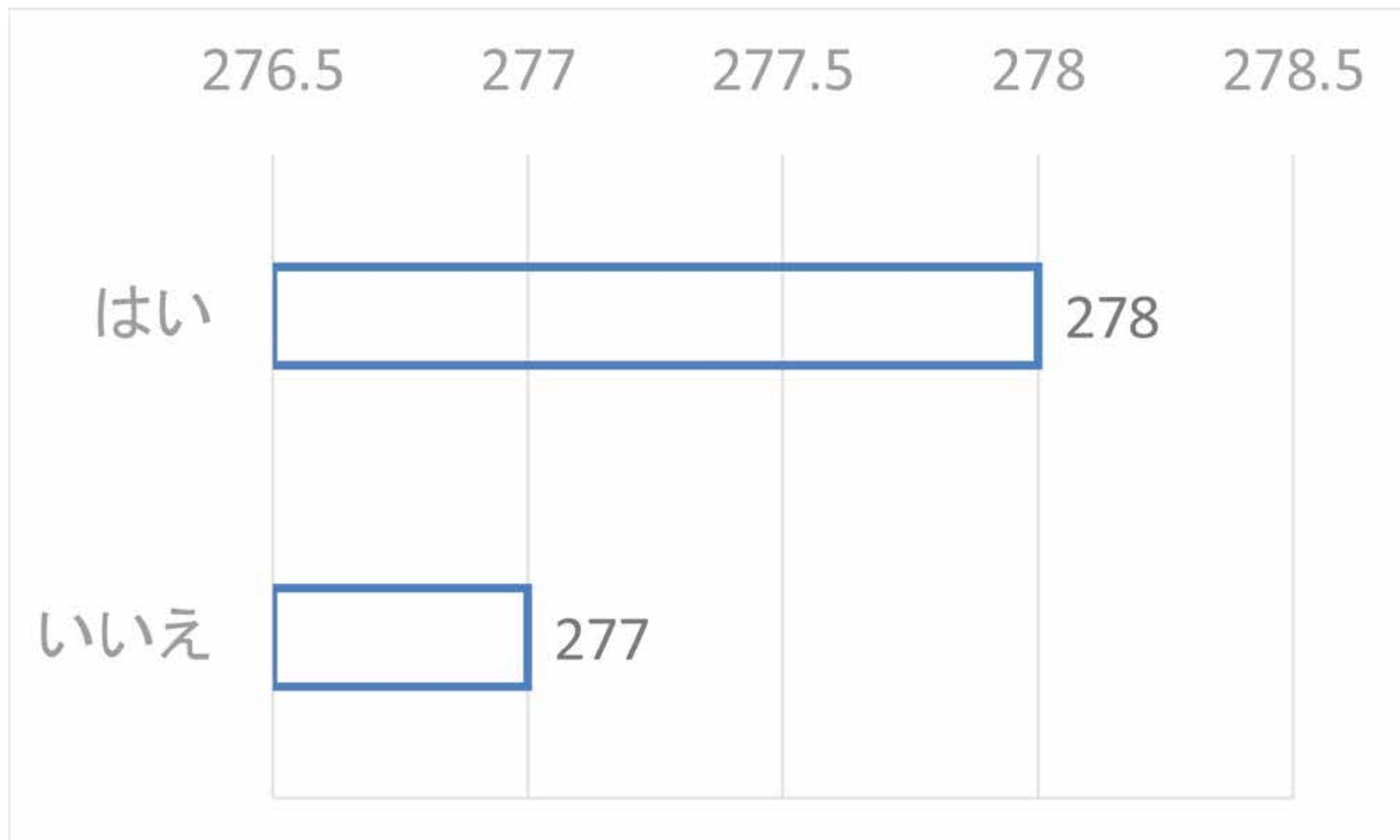
問9 民生委員の活動内容を知っていますか？



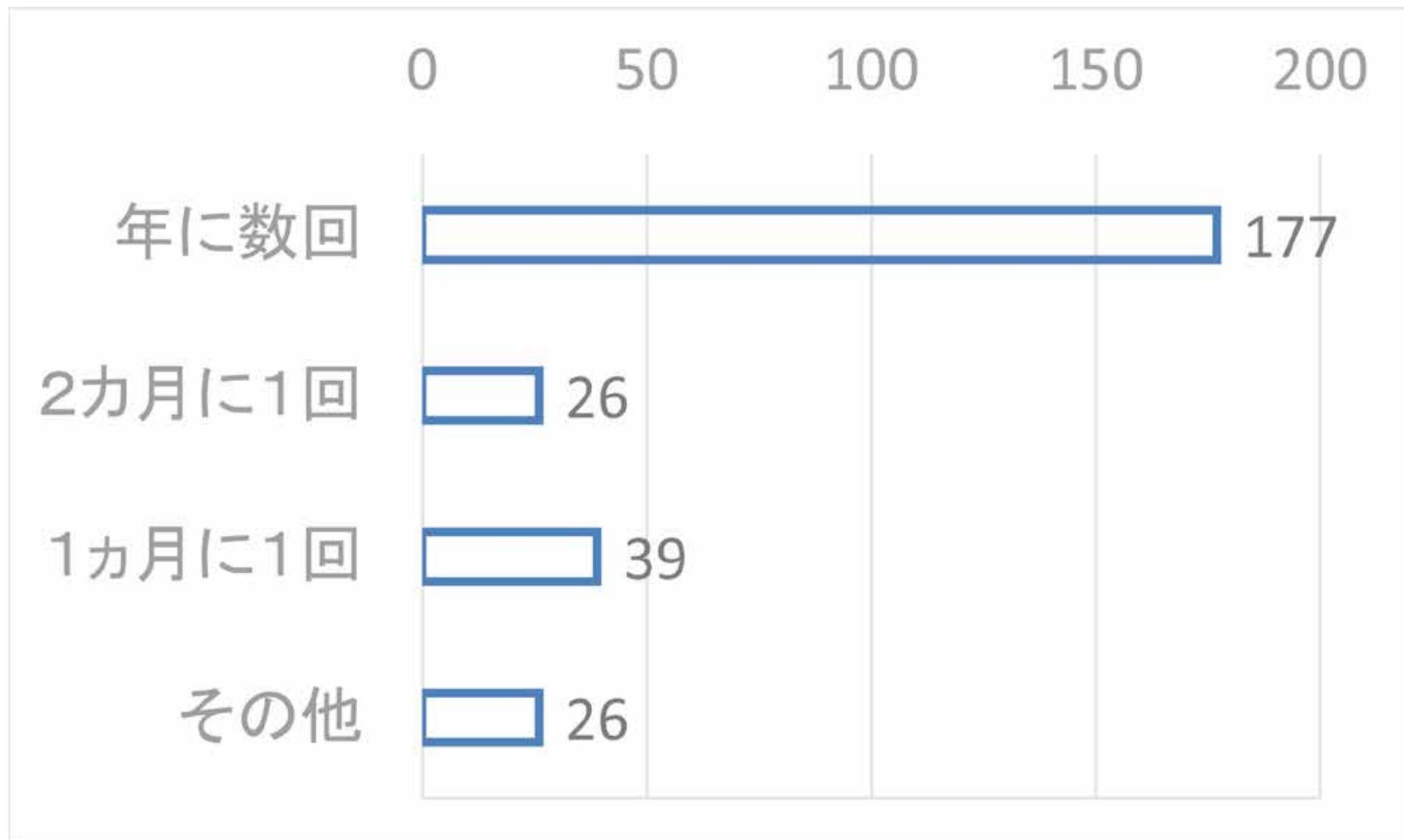
問 10 民生委員との関わりはありますか？



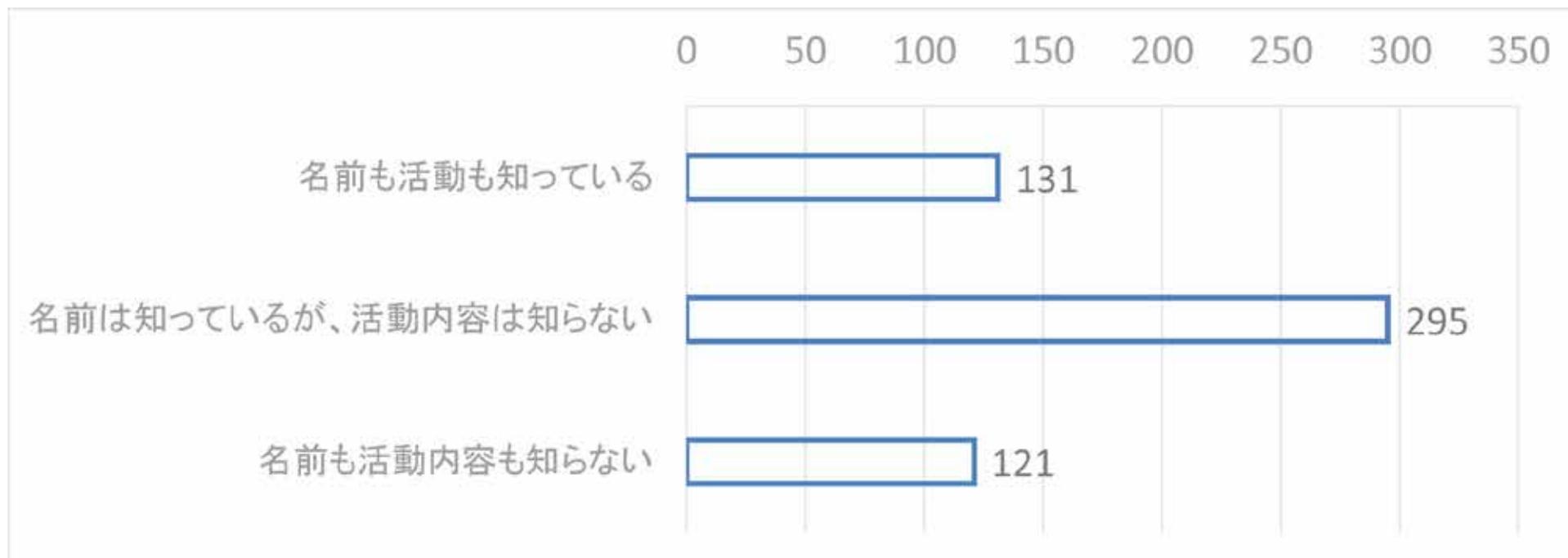
問 12 行政区長との関わりはありますか？



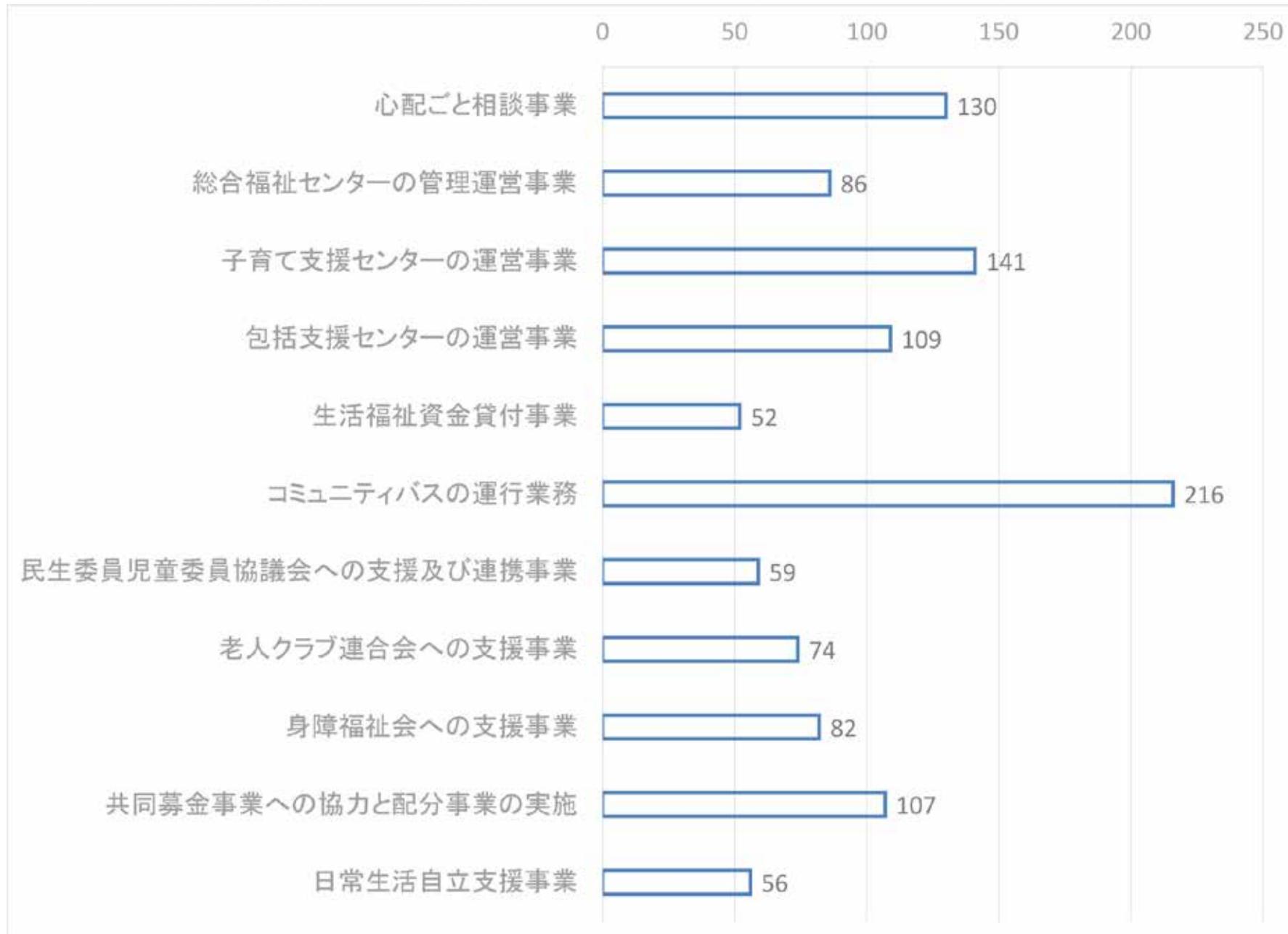
問 13 問 12 で「はい」を選んだ場合お答えください。
どのくらいの割合で関わりがありますか？



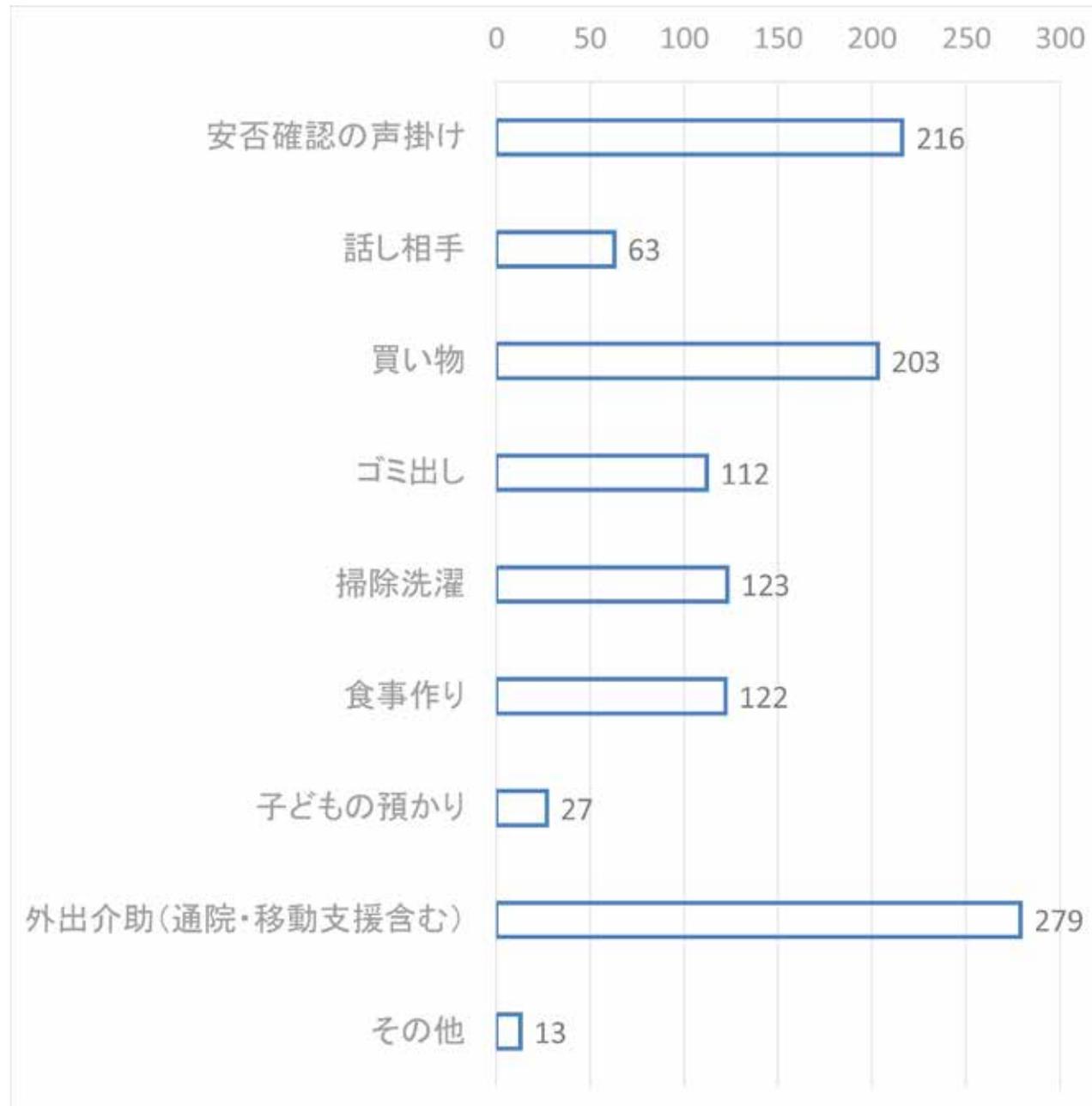
問 14 社会福祉協議会のことを知っていますか？



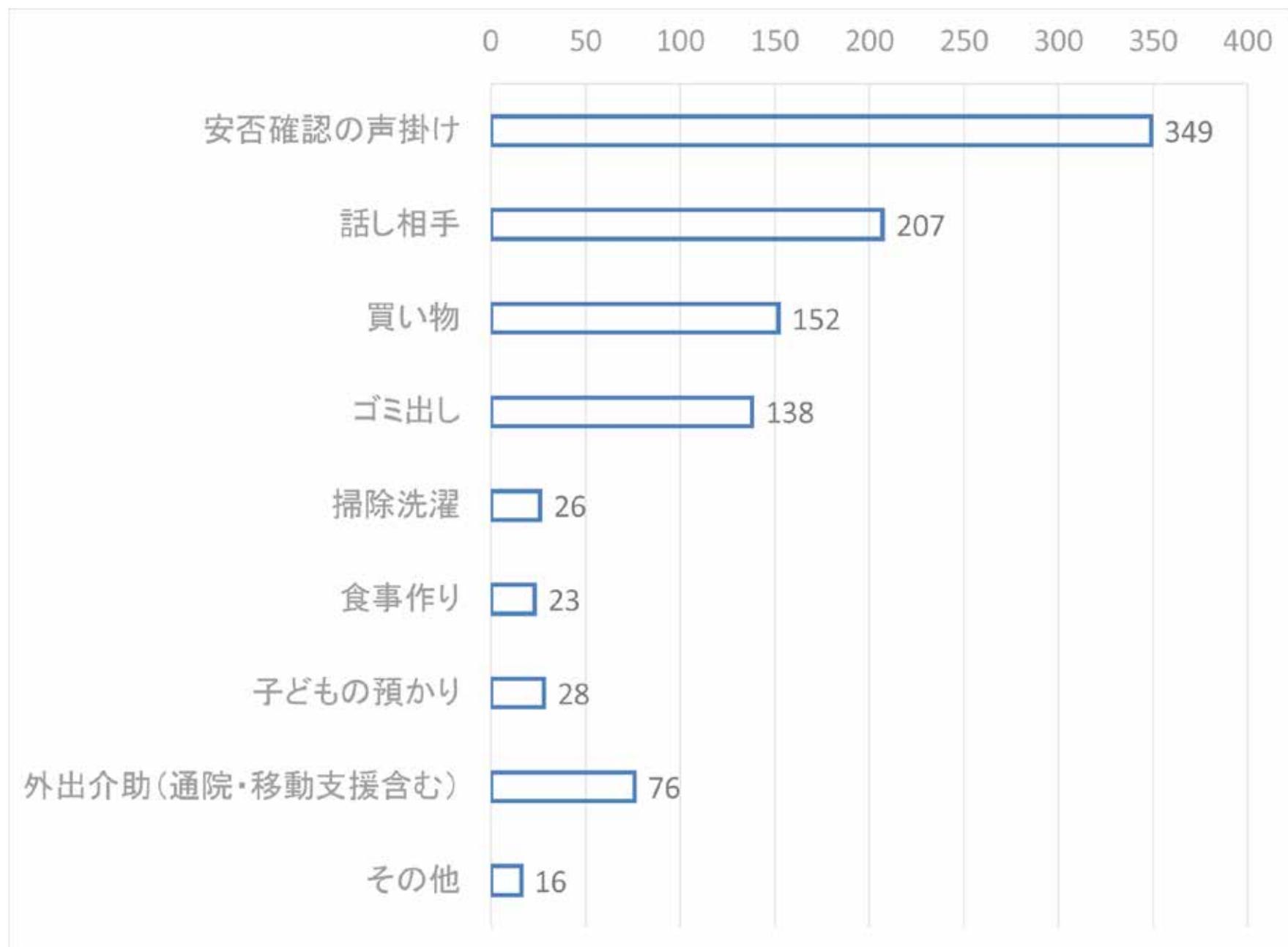
問 15 社会福祉協議会の事業についてどれを知っていますか？



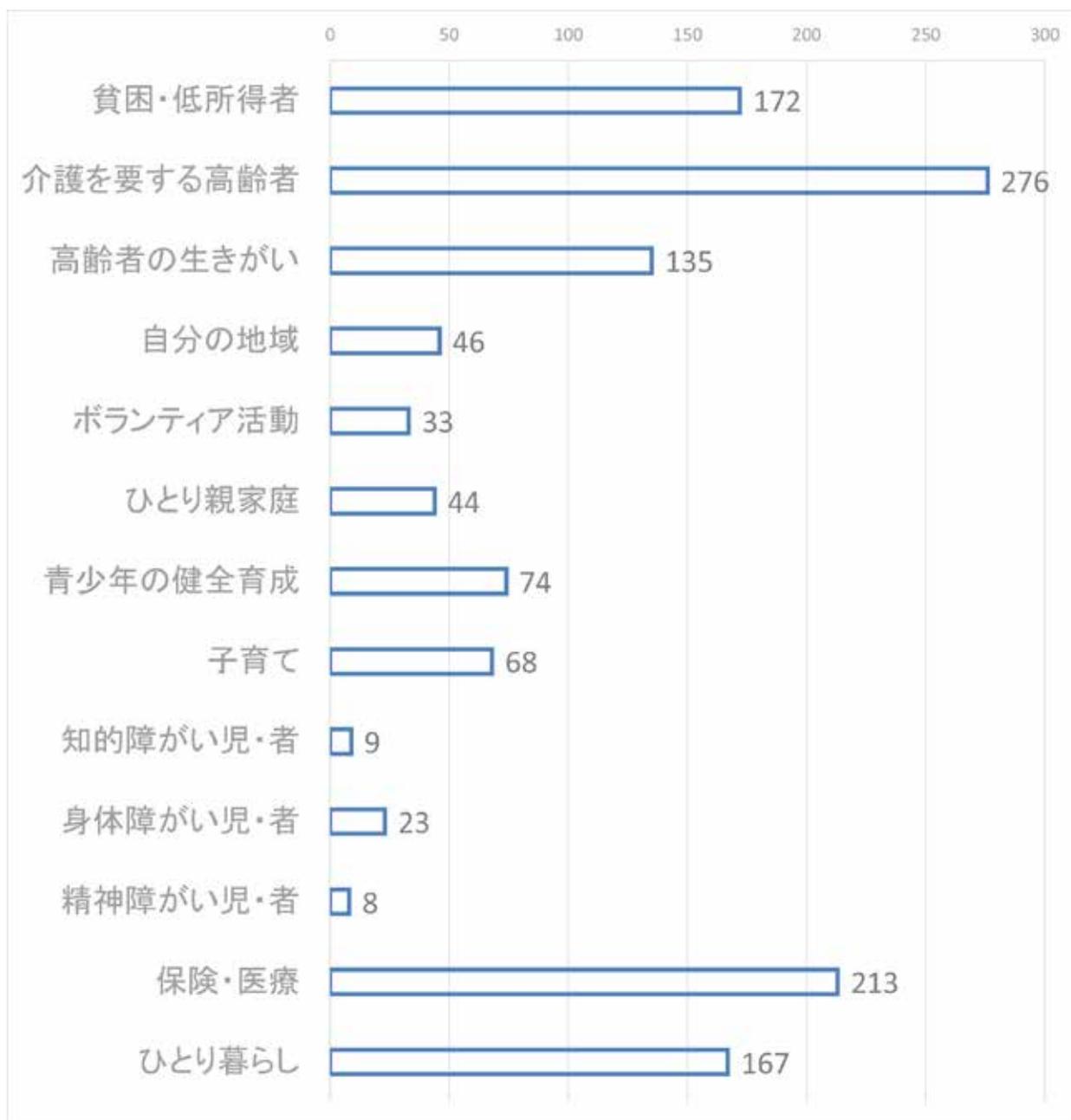
問 16 あなたが病気や事故、高齢などで日常生活が不自由になったとき、
地域で何をしてほしいですか？



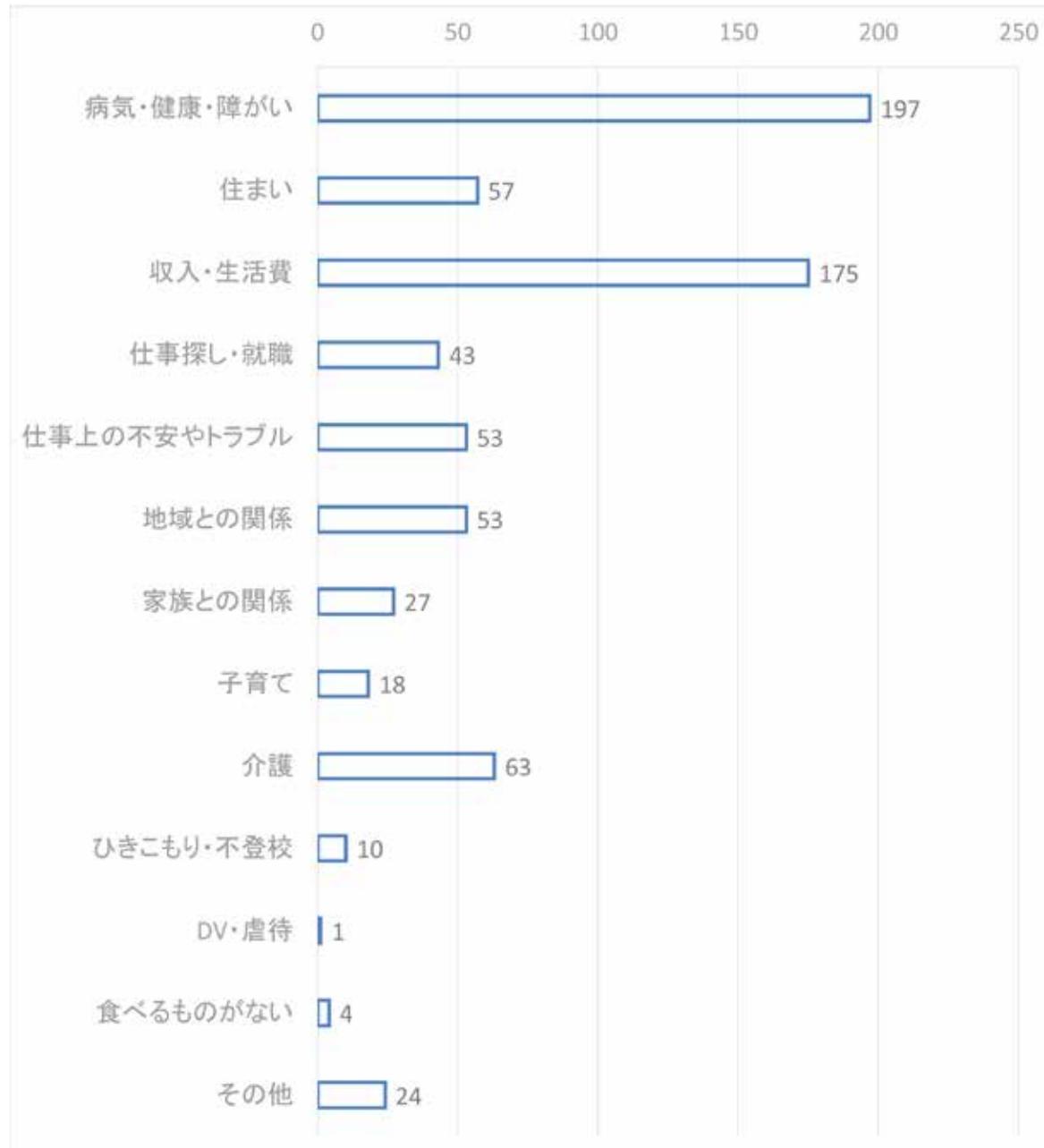
問 17 あなたが地域で、高齢者や障がい者、子育てなどで困っている世帯があったら、その世帯に対してできることは何ですか？



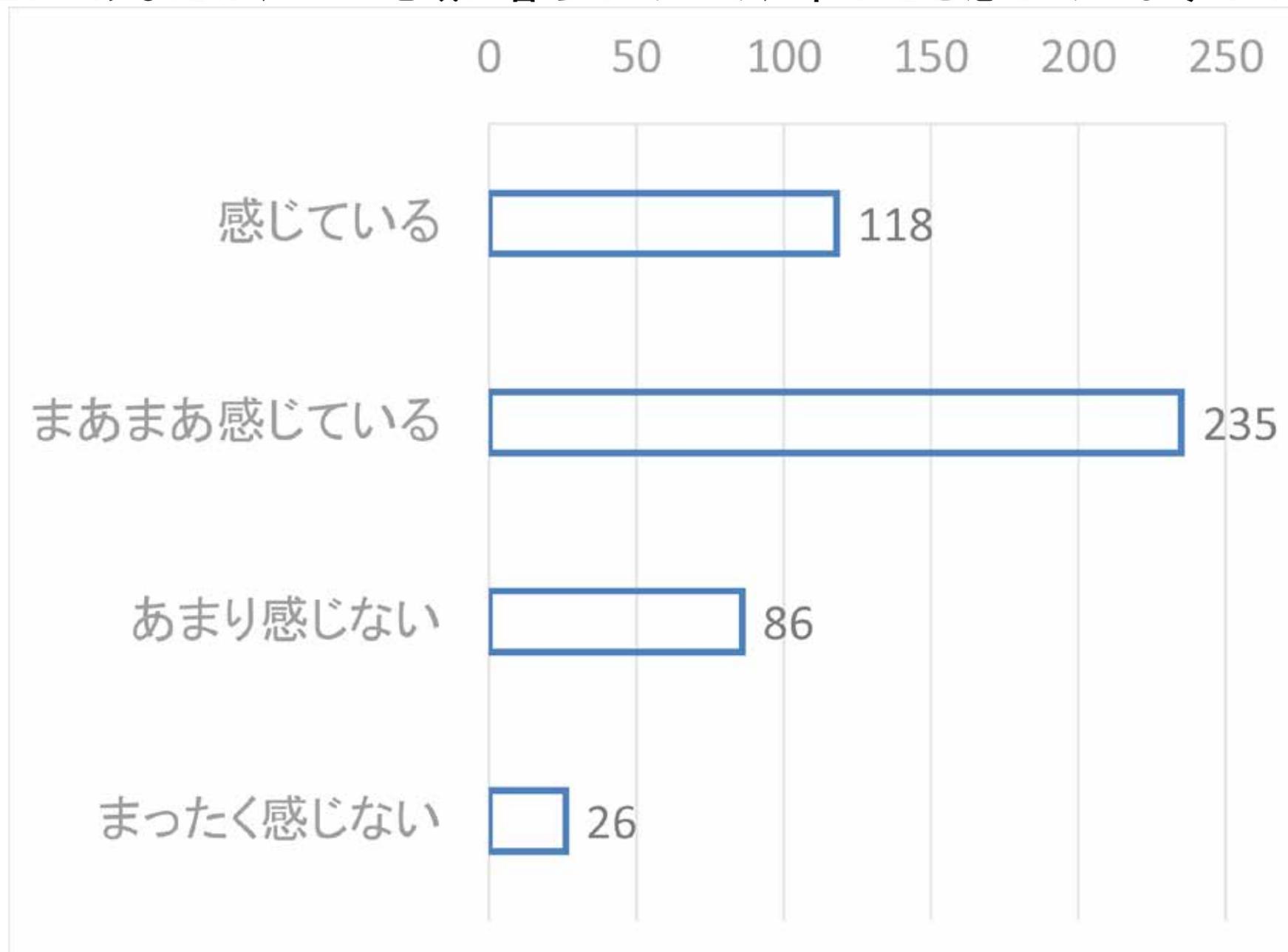
問 18 あなたは、大任町において今後重要となる福祉問題は何だと思えますか？



問 19 あなたは、日常生活で、困っていることはありますか？



問 21 あなたは、この地域に暮らしていて、幸せだと感じていますか？



問 11 民生委員との具体的な関わり内容を自由記述

- よく気を付けて様子を見に来てくれますし、夫婦ではできない事を手伝っていただいています。
- 一人暮らしのところには時々声をかけて欲しい。
- 緊急時、災害等困った時に相談をしている。
- 前の民生委員の方は時折声掛けをしてくれていましたが、今度の方は一度も訪問などありません。コロナのせいでしょう。
- 町村身障者運動会参加やいきいき温泉教室など。

問 22 この地域に暮らしていて幸せかどうかの理由を自由記述

- コミュニティバスがあって買い物にも困らないし、コロナで大変な時にも、素早い対応がうれしかった。
- コミュニティバスが不便
- コミュニティバスなど、子どもたちが利用しやすい所など。
- それなりに福祉がしっかりしていると思う。これからも住みやすい。
- ひとり親に対して冷たく、子どもに障がいがあると「あの子と遊んではいけない」など障がいがある子どもの前で言われます。集える場所があって、障がい児でも子ども同士で遊べると理解して頂ける場所があれば本当にいいと願っております。障がい児は一生外で遊べないのでしょうか。
- 一人で生活をしている年寄りにも少し気配りをして欲しい。
- 一人暮らしになって23年間、民生委員は一度も来たことがない。自分を推薦していただける人が何人かいます。自分が役立ちたい考えです。
- 現在独居ですが、近隣の方がよく声かけをしてくださいます。

- 交通の便が悪い(年を取った時に買い物に行きにくい不便)
- 幸せだと感じる支援など受けていない。私の子どもは知的障がい児ですが、知的障がいの子にはとても冷たい町だと思います。
- 子育てやこどものいる家庭ばかりを重視していて、高齢者の支えが少ない。
- 自然がいっぱいにゆっくりと過ごせる。その反面自分で運転ができなくなった時、しじみのバスだけでは不便だと考え中です。
- 1週間に一度でいいので車で食料を売りに回っていただけたらと、夢の様な事を考えています。
- 社会福祉協議会への寄付金などは明瞭に使用してください。
- 車が無いと不便だと感じる。
- 若い世代の活躍が全くなく、高年齢の人がしなくてはいけない。
- 周りの方に良くして頂いている。ただ、運転免許を持っていないので外出がとても不便です。駅までの交通手段がもう少しあればいいなと思いました。
- 老後、子育てに不安にならない様に考えてください。

※本会に直接関係のある回答結果を抜粋して掲載しています。

ご意見ご要望を自由記述

- この様なアンケートは町の人々の声が集まるため、とてもありがたいと感じます。しかし、どのように取り組んで行けるのか、また、行かれるのかは疑問です。
- コロナの影響で活動が全体的に縮小してきています。世間全体がそうになっている中で、孤立してしまう高齢者が増えてくるのではないかと心配しています。
- ひとり親では、生活に困ることが多くなるでしょう(収入、家事、育児、教育等)将来の大任に直結する支援を、社会福祉協議会をまたその事業を広く知らしめなければ。
- 以前コミュニティバスを利用した際、下車チャイムがなかったのが不便だと感じました。
- 行動範囲が狭くなり、車に乗れなくなったらと思うと心配です。
- 高校大学へ行くための交通手段が不便すぎる。送迎で困る。
- 高齢独居世帯になると、田舎ではとても暮らしづらくなります。コミュニティバスはバス停まで遠く歩けません。移動販売や配食サービスがあればいいです。

- 地域とのつながりが希薄に感じます。
- 子育て支援ばかりでなく、50代くらいの人にも何らかの形があってもいい。コミュニティバスも有料にしてほしい。税金ばかりとらないで、水道代が高いので、バス代をとってください。
- 事業所(社会福祉協議会)からのチラシなど配布して貰えれば、事業内容がわかると思います。
- 社会福祉協議会は住民に一番近い仕事だと思っています。大変だと思っています。がんばってください。
- 図書館をもっと充実してほしい、山田市はすごいですよ。
- 図書館をもっと充実して欲しい。山田市のように。
- 地域の子ども会なし、青年会なし、婦人会は活動無し。老人会のみでの活動はさびしい限りです。
- 町報が、唯一の町民をつなぐ情報誌だと思っています。内容を幅広くのせて貰いたい。

※本会に直接関係のある回答結果を抜粋して掲載しています。

毎月の図書館利用者等、文化・学校の状態等(下校時の放送をきくのみ)。取り掛かりのみ掲載し、結論は無し。きちんと対処、読んでためになる町報を期待します。

○飯塚市や嘉麻市などのように図書館をもっと充実させてほしい。子どもたちが勉強したり、休日に読書したりするようにしてほしい。子どもからお年寄りまで幅広く活用できるから。

○幼児虐待を徹底して阻止してほしい。

問 20 日常生活で困っていることでどのような支援がほしいか自由記述

○ひとり親で入院をした時に子どもたちを預かってくれるところを知っておきたい。誠慈学園で預かってもらえるのかを知っておきたい。

○家のことですが、子どもに精神障害があって団体行動もできず、不登校になっております。そんな子どもでも安心して集える場所があるといいと思います。

○外出介助（通院・移動支援）

○月に一度は家庭に声掛け。

○見守り活動、移動販売や配食サービス。

○元気なうちから高齢者が気軽に通える通いの場があればいいと思う。（自分で行けない人は送迎もあればなおよい）

○高齢者になり、周りの友人も亡くなり、出来ないことも増え、家に閉じこもっている。

○現在は年金と少しのアルバイトで生活している状態です。今後、介護を受けるとすれば施設に入所（低所得）できない。そこで地域の公民館等を利用して、週1

日でも自宅で生活している高齢者の話し相手、簡単なものづくりをすればいいと思う。

○現在困っていることはあまりない。就学前なので情報が少ないのと、近所に子どもがいないので、将来的に近所の方との関わりが心配ではあります。

○交通手段がない。車が無いと不便。相談所、リハビリ施設、運動施設(器具やピラティス・ヨガ等)病院、買い物への交通手段(車の運転不可、免許証を持ってない方)

○交通手段がない事。コミュニティバスの運行。

○高齢化が進み屋外に出なくなったため、交流が少なくなった。

○高齢者の一人暮らしに対し社協が配食サービスで、声掛けやみまもりを行うこと

○高齢者や一人暮らしの支援・訪問・現地調査・把握・協力者への支援

○高齢者一人暮らしの方への支援を、介護認定されなくても低価格で利用できると安心。

○災害時の避難場所を詳しく知りたい。わかりやすい場所。一人でも周りに気を使わず、気兼ねなく行ける。地域外だと周りの人に気を遣う。今いるいる場所に避難場所がないため。

○自宅近くに店がないため、高齢になり足が不自由になった時の通院、買い物等の援助。

○買い物や通院その他が不安です。

○女ひとりなので、家の中や周りのことができないことが多い。たのむとお金がたくさんかかり、生活が大変。

○情報があれば利用したい。

○他者(ボランティアとの交流)

○定期的な声かけ

○電話相談をもっと多く取り入れ、皆さんの声を聴くようにしていただきたい。

○年齢を重ねていくにつれて、足が不自由となり、町内への移動等に何か足となるものがあればありがたいと思います。

※本会に直接関係のある回答結果を抜粋して掲載しています。

- 買い物が不便、車がなくなった時、コミュニティバスで行けないこと。
- 病院に通う時送迎車があれば助かります。
- 病院の送り迎え。
- 病気では医療費や送迎の改善、介護については手探りなのでもっと教えて欲しい。
- 病気に対する食事や運動等
- 病気等での休職期間中の収入支援。
- 家族介護が大きな負担となり、生活が困難となった場合の支援。
- 毎日の安否確認。
- 老後の支援援助
- 老後の病気治療などの無料化。
- 見守りなどの支援。
- 通学に使えるバス停がなく危険なので 16 時 17 時のバスを増やして頂けると助かります。

※本会に直接関係のある回答結果を抜粋して掲載しています。